

令和7年度 PTA 会長よりご挨拶

保護者のみなさん、日々の教育に子育て、大変おつかれさまです！陶鎔小PTA 会長3年目の和田です。書面総会にあたり、簡単にご挨拶させていただきます。

ずっと言い続けていることですが、陶鎔小学校のPTA活動は「やらなきゃいけない」ではなく、「やってみようかな」をめざしています。僕はこの感覚がPTA活動で最も大事なことの一つなんじゃないかと思っていて、それをみなさんにも知っておいていただけたらなという思いがあります。なので、「なんかまた同じことを言ってる気がする」と気付かれる方もいるかもしれませんが、決して挨拶を考えるのが面倒だからというわけではない、と弁明しておきます。

昨今、PTAの意義を問われるシーンが増えてきていると実感します。市内でもいくつかの学校ではPTAが廃止されたり、別組織としてチェンジするところも出てきました。僕もPTAが無くなるという選択肢は大いにアリだと思っていて、そのように変わっていく他校はネガティブで残念な決定をしたわけではなく、ポジティブな変革に舵を切ったんだと解釈しています。

僕は今のところ、陶鎔小のPTAを廃止するつもりはありません。それは、PTAという組織が、学校と保護者とのつながりを自然に育んだり、地域全体で子どもたちを見守るネットワークとして機能したりと、PTAだからこそできることがあると思っているからです。「PTAがマイナスな存在になってしまうのはすごくもったいない」と感じているからこそ、前例にとらわれないPTA活動ができるのではないのでしょうか。

ということで、今年度も適度にゆるーく活動していきます。

今年度から、PTAのGoogleアカウントを取得し、メールアドレスを用意しました（総会議案書の活動方針案に記載されています）。これまで以上にいろんな意見を寄せてもらえたら嬉しいです。

それでは、令和7年度もどうぞよろしくお願いします！

陶鎔小学校PTA会長 和田 直也